

阿賀の宝もん ★発掘レポート

阿賀野川の歴史や文化、人や暮らし、自然環境…
などを流域の未来に生かす取組を掲載。

新潟イザベラ・バード研究会

▲道の駅阿賀の里の船着き場にて

バード来日140周年を前に

 まちあるきガイドとして活躍し始めた伊藤さんが「イザベラ・バード」に深く関わるきっかけとなつたのは、バード来日140周年(平成29年)就任しました。

次ページへ



イザベラ・バード

「阿賀の里(下)」(東蒲原郡史編さん委員会)掲載

イザベラ・バードについて

イザベラ・バードは、イギリス生まれの旅行家・紀行作家で、ハワイ諸島やロッキー山脈を探検後、明治11(1878)年に日本への大旅行を決行し、「日本奥地紀行」を著しました。

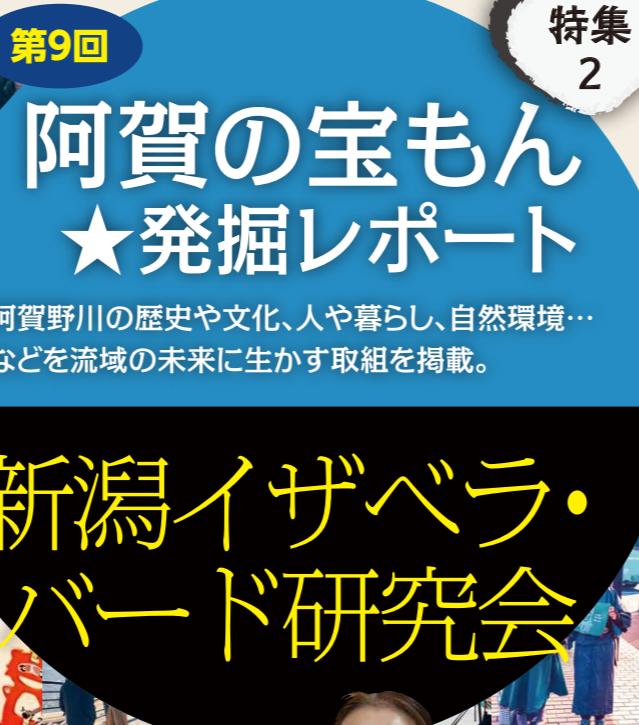
5月20日に来日したバードは、北日本の踏査及び関西旅行をへて、12月まで日本に滞在しました。なお、北日本の踏査には、通訳兼従者の伊藤鶴吉氏が同行しています。

また、新潟県内では、阿賀町津川から阿賀野川を船で下り、小阿賀野川・信濃川を通って新潟町に滞在した後、木崎・黒川をへて、十三峠から県外へ移動しました。



伊藤鶴吉氏

「近世名士写真其1」(近世名士写真頒布会)掲載



新潟イザベラ・バード研究会 代表 伊藤 頼子さん

新潟市江南区生まれ、会社員。みるみる沢海まちあるきガイド代表や新潟シティガイドを務める傍ら、2019年に新潟イザベラ・バード研究会を立ち上げ、代表として活動。

今から15年ほど前、ちょうどNHKの人気番組「プラタモリ」が始まる頃、伊藤頼子さんは新潟のまちあるきに関心を持ち始め、実際のイベントに何度も参加していました。その当時から「もし自分がガイドだったら、こう案内しよう…」という思いが、すでに芽生え始めたそうです。

地域の歴史や地理に根ざしたまちあるきへの関心をさらに深めた伊藤さんは、「にいがた市民大学」で「新潟学」を受講した後、ガイド養成講座を経て、平成26(2014)年に「新潟シティガイド」としてデビューします。また、同じ頃、地元・新潟市江南区の沢海地区でまちあるきガイドの団体が立ち上がり、その代表にも

※P.5~6のキャプション(出典や提供先)の記載がない写真是すべて伊藤頼子氏提供

ドローンの視点で

阿賀野川を上流から下流まで下る動画を見ながら、阿賀野川の自然・現在を語り合う



鳥の目線で大河を下つて
小型のドローンを地表100メートルほどの高さまで飛ばし、阿賀野川を上流から下流まで下る鳥の目線となって撮影した動画を眺めながら、阿賀野川の自然や地理、現在の取組について語り合いました。

当日の視聴者の中には、阿賀野川を上空から眺めた動画に驚かれた方も多く、ゲストの方々から多様な解説もなされましたことで、阿賀野川への多角的な理解が促されました。

阿賀野川オンラインツアー2日目・11月28日配信

阿賀野川 オンラインツアー ドローン川下り



ゲスト ※上掲写真
左から…

水の駅「ビュー福島潟」事務局長

佐藤 安男氏

阿賀まちづくり株式会社 代表

堀口 一彦氏

阿賀町農林課長

江花 一実氏

【自然・現在編】

11/28(日)
15:00~17:30



▲蛇行して流れる阿賀野川の中流



▲阿賀野川上流の屈曲部



▲川幅が広がった阿賀野川の下流



▲上流にある旧鹿瀬工場

当日の様子を YouTube でご覧になれます!



次のURLもしくはQRコードからご覧いただけます。

URL: https://youtu.be/M_InkcKYPyY



▲ゲストによる様々なプレゼン(解説)が行われました!